News Release

２０１９年１１月２０日
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

国税関係取引書類の受領において検索項目の取り込みを容易にする
ＱＲデータフォーマットを規格化
～電子帳簿保存法スキャナ保存の普及のために取引書類発行側にＱＲ印刷を提案～

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(会長: 山下 良則　略称 JBMIA)は、領収書、請求書、納品書などの国税関係取引書類の受領企業側が、検索項目の取り込みを容易にする目的のＱＲデータフォーマットを規格化（JBMS-89）しました。
https://www.jbmia.or.jp/standard/index.html （JBMS ホームページ）

国税関係取引書類は、税法によって帳簿と共に７年間の保存が義務化されている書類で、各企業において保存のための倉庫費用と多くの間接業務を発生させています。ＥＤＩなど電子取引の普及が進む昨今でも、日本の商慣習においては、依然として領収書、請求書、納品書といった紙書類での取引が大多数を占めています。さらに取引書類をＰＤＦ化し、電子メールに添付して送付するといった新たな電子取引の形態も発生しており、これらの長期保存は各社の経営課題と化しています。さらに令和 5 年にスタートする適格請求書等保存方式（インボイス制度）によってあらたな取引書類が追加され、インボイス受領者が取引金額と税額を正確にデータ化するための手間は増加します。

一方、政府の規制緩和の一環で電子帳簿保存法により、取引書類のスキャナ保存や電子取引データの電子保存が容認されていますが、取引日、取引先、取引の事由、金額などの情報ですみやかに検索できることが電子保存の許可要件となっています。

ＩＴの特性で紙をスキャニングしてイメージ情報として電子化しただけでは検索性は付与できず、またＯＣＲといった文字読み取り技術での判読率には限界があり、この検索情報の入力が国税関係書類スキャニング制度での電子保存普及を妨げる大きな要因となっています。

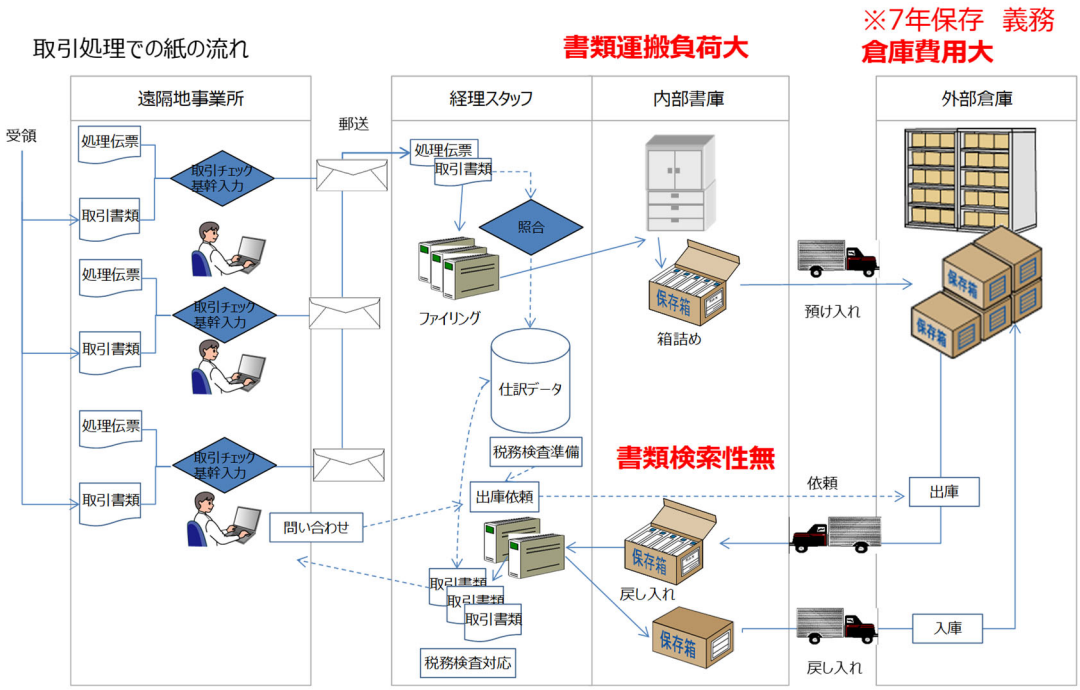
しかし、ＱＲはＯＣＲに比較して誤読率が極めて低く、印刷技術および判読技術は広く普及しており、取引書類の受領企業での検索情報取り込みは容易に実装可能です。

弊協会ドキュメントマネージメントシステム部会（JBMIA DMS 部会）では、取引書類の発行側が取引内容をＱＲ化し、取引書類に印字して相手に渡すという運用の普及を提案するとともに、読み取ったデータ形式を標準化するためのＱＲ用の汎用データフォーマットを規格化しました。

この提案が普及することによって国税関係書類の電子保存が促進され、間接業務の負荷軽減によって企業の競争力向上に寄与できれば幸いです。

参考①　紙の取引書類を７年間保存するために膨大な作業負荷が発生

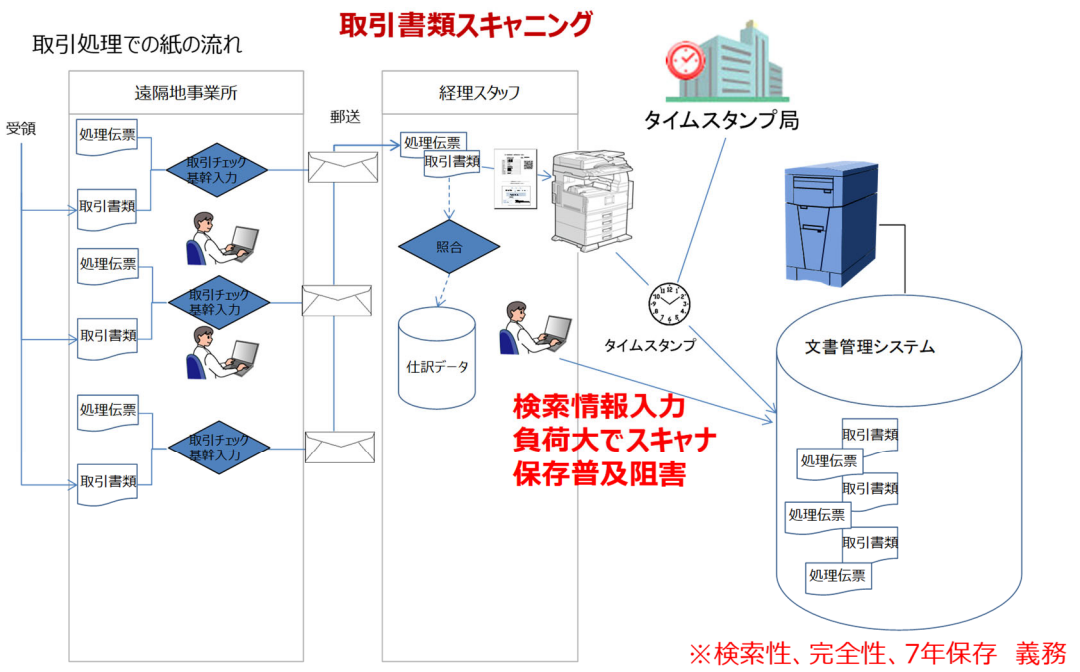
一般的な現状の取引書類保存業務イメージ



1

参考②　取引書類の検索情報入力に手間がかかり電子帳簿保存法スキャナ保存制度の普及を阻害

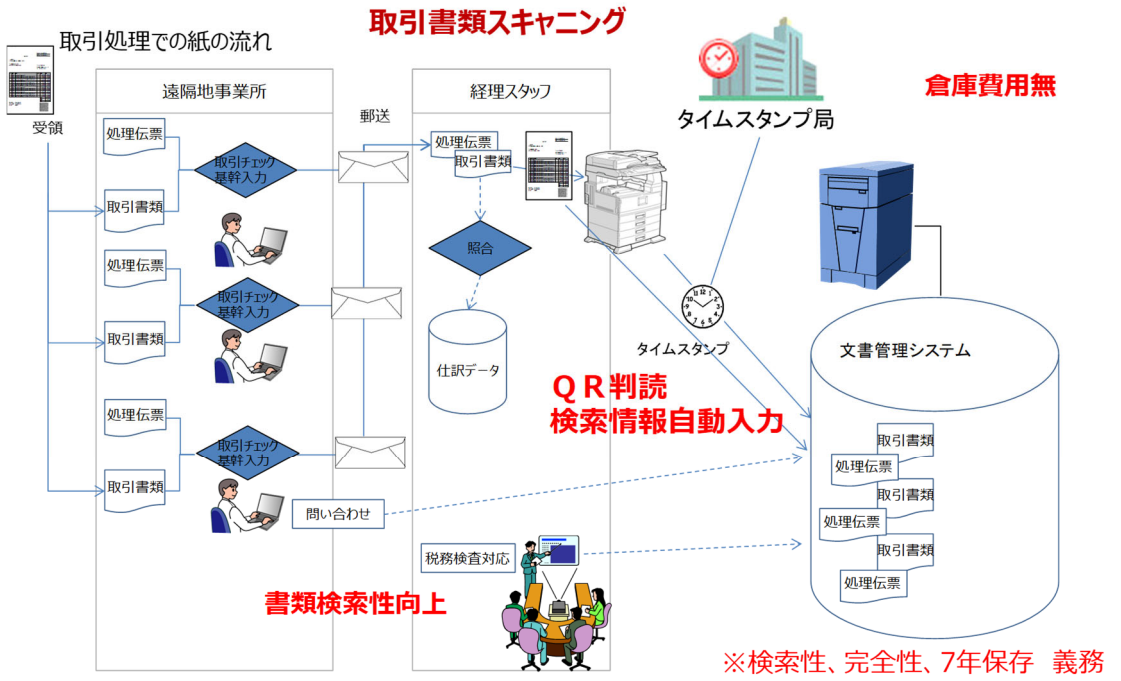
取引書類電子化時の阻害要因



2

参考③　取引書類に検索情報 QR 印字があれば受領側は簡単に検索情報を取得可能

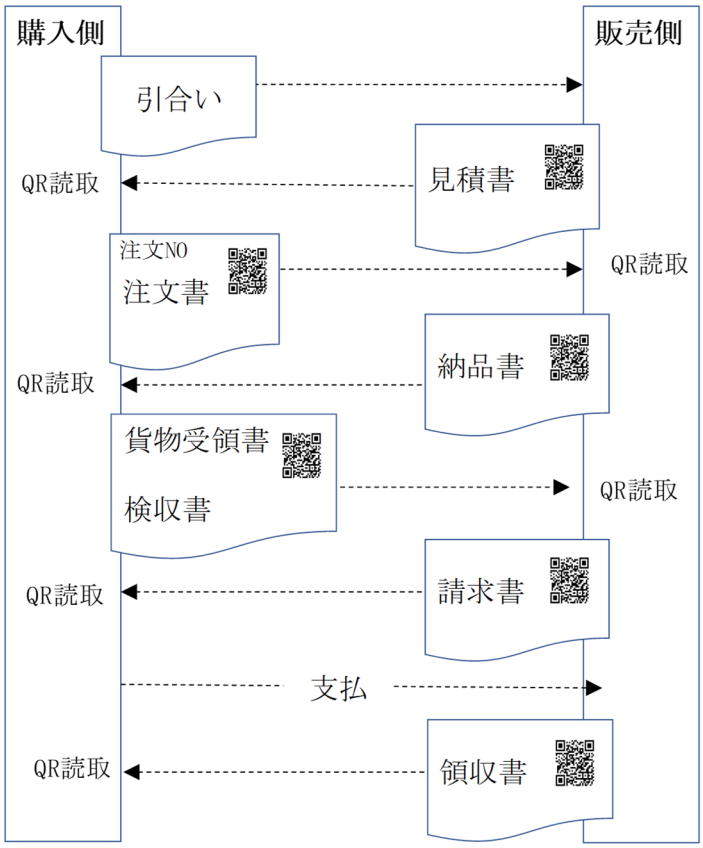
ＱＲでの阻害要因の解消



3

参考④　受領者側の業務効率化のために、発行者が検索情報を取引書類に QR 印字する運用を提案

提案する企業間取引書類のやり取りのイメージ



参考⑤　取引書類のサンプルイメージ

領　収　証　2019年10月20日

〇〇株式会社　様

￥ 2,200

上記正に領収いたしました。

内訳 ガイド書籍 1冊

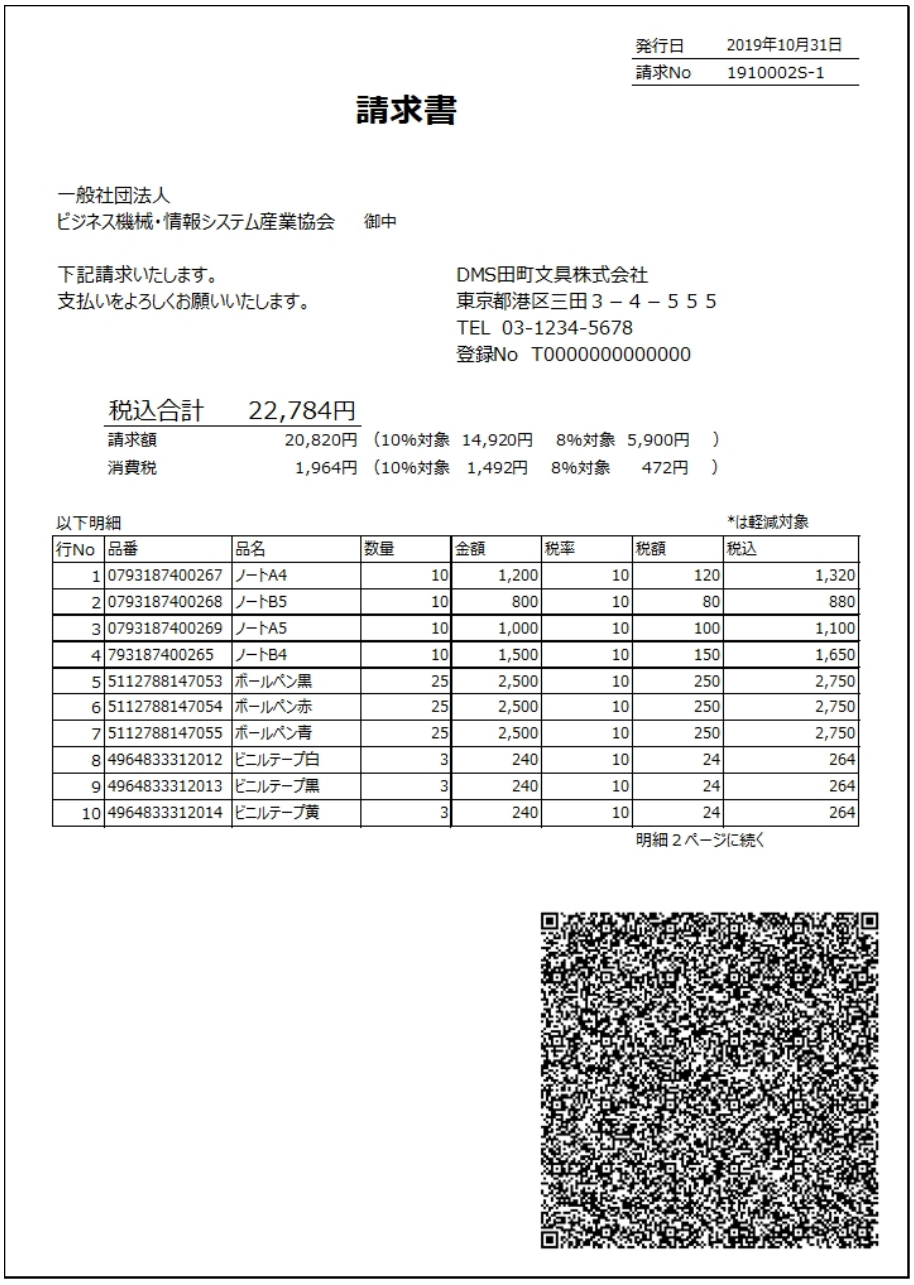
税抜金額 ￥2,000

消費税額等（ 10％） ￥200

〒108-0073 東京都港区三田3-4-10
リーラ ヒジリザカ7階
Tel 03-6809-5010（代表）

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

登録番号 T8010405010552



発行日　2019年10月31日
請求No　1910002S-1

請求書

一般社団法人
ビジネス機械・情報システム産業協会　御中

下記請求いたします。
支払いをよろしくお願いいたします。

DMS田町文具株式会社
東京都港区三田３－４－５５５
TEL 03-1234-5678
登録No T0000000000000

税込合計　22,784円

請求額　20,820円（10%対象 14,920円　8%対象 5,900円　）
消費税　1,964円（10%対象 1,492円　8%対象 472円　）

以下明細　　*は軽減対象

行No	品番	品名	数量	金額	税率	税額	税込
1	0793187400267	ノートA4	10	1,200	10	120	1,320
2	0793187400268	ノートB5	10	800	10	80	880
3	0793187400269	ノートA5	10	1,000	10	100	1,100
4	793187400265	ノートB4	10	1,500	10	150	1,650
5	5112788147053	ボールペン黒	25	2,500	10	250	2,750
6	5112788147054	ボールペン赤	25	2,500	10	250	2,750
7	5112788147055	ボールペン青	25	2,500	10	250	2,750
8	4964833312012	ビニルテープ白	3	240	10	24	264
9	4964833312013	ビニルテープ黒	3	240	10	24	264
10	4964833312014	ビニルテープ黄	3	240	10	24	264

明細２ページに続く

参考⑥　取引書類に印字される取引内容のデータをＣＳＶ化し、ＱＲ変換して印刷

取引書類検索用 QR　JBMIA フォーマットの内容　　ＣＳＶ行の終わりは改行

列順	列項目 ※は必須	目安の長さ （文字）	「選択肢」およびテータタイプ。 データ無は null（空白）とする。	備考
1	識別子 ※	5	「jbmia」	JBMIA フォーマットと他用途 QR の表現内容とを識別する為、CSV 全行で固定。
2	取引書類種 ※	6	「契約書」「領収書」「預り証」「借用証書」「契約の申込書」「請求書」「納品書」「送り状」「輸出証明書」「検収書」「入庫報告書」「貨物受領書」「見積書」「注文書」「その他」	「小切手」「約束手形」「有価証券受渡計算書」「社債申込書」 などの書類種は対象外とする。 明細がある場合 CSV 全行に表記。 電子帳簿保存法一問一答参照。
3	受領者名 ※	20	文字	書類の受領者会社名。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
4	発行者名 ※	20	文字	書類の発行者会社名。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
5	取引日 ※	8	YYYYMMDD 形式	取引日を西暦表記。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
6	注文番号	20	文字	注文者が発行し受注者はそれを継承。 契約書、注文書、請求書、納品書、検収書、入庫報告書、貨物受領書　で利用し他の書類では「null」。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
7	頁 ※	2	整数	３桁区切りカンマは不可。 取引書類の現在の頁を示す。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
8	行番号 ※	3	整数	３桁区切りカンマは不可。 合計だけの取引書類では「0」。 明細がある書類では CSV1 行目で「0」とし、CSV2 行目以降は同一取引に表記された通しの明細行番号。
9	品番	13	文字	取引する品およびサービスの品番。
10	取引品名 ※	40	文字	取引する品およびサービス名。 明細がある書類の CSV1 行目では任意。
11	数量 ※	9	数値	３桁区切りカンマは不可。 取引する品、サービスの数量。 合計だけの取引書類では「1」。 明細がある書類の CSV1 行目は「1」。
12	税抜金額 ※	13	数値	小計額。３桁区切りカンマは不可。 マイナス可。
13	税率% ※	3	数値	３桁区切りカンマは不可。 %を表す数値。 複数税率を含む合計だけの取引書類では「null」。複数税率を含む明細がある書類の CSV1 行目は「null」。
14	税額 ※	13	数値	小計額。３桁区切りカンマは不可。 マイナス可。1 円未満切上げか切下げ。
15	税込金額 ※	13	数値	３桁区切りカンマは不可。 マイナス可。
16	登録番号	14	文字	適格請求書にて要求される書類発行者の登録番号。 明細がある場合 CSV 全行に表記。
17	取引内容 ※	8	「通常」「軽減」	適格請求書にて軽減税率対象か明細で入力。
以降	任意	任意	任意	QR の情報量の範囲で追加可。 予備項目。

参考⑦　電子帳簿保存法スキャナ保存制度　国税関係取引書類検索情報要件の例

（１）領収書　　領収年月日、領収金額、取引先名称
（２）請求書　　請求年月日、請求金額、取引先名称
（３）納品書　　納品年月日、品名、取引先名称
（４）注文書　　注文年月日、注文金額、取引先名称
（５）見積書　　見積年月日、見積金額、取引先名称

注）QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

以上

本件に関するお問い合わせ先：
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
TEL：03-6809-5010（代表）　　FAX：03-3451-1770
DMS 部会事務局　　相原　正司